

## 2023年産米の収穫予想(7月31日現在)

### 【水稻作柄】◆全国作況101の「平年並み」

米穀データバンクでは、各都道府県別の7月末までの気象データを作況推計プログラムに投入して、作況および収穫量を予想しました(8月1日以降、収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。天候経過によって上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2023年産(令和5年産)の水稻作柄は、全国作況101の「平年並み」が予想されます。田植え以降、高温・多照で経過するなど、おおむね天候に恵まれた地域がある一方で、6月から7月にかけての日照不足等の影響で一部地域に生育遅れや、大雨・台風等による影響が見込まれるためです。

地帯別の作況は▽やや良＝北海道104、東北102▽平年並み＝関東・北陸・東海・近畿・四国101、中国100▽やや不良＝九州98、沖縄96が見込まれます。都道府県別では、102～105の「やや良」が14都道県、99～101の「平年並み」が28府県、95～98の「やや不良」が5県と見込まれます。

なお、6～7月の大雨で発生した浸水・冠水被害は、今回の予想に直接反映していません。また、8月以降も高温傾向や台風の発生などの天候不順が続いており、▽高温障害▽病虫害発生▽台風の動向等…が収量・品質に与える影響に留意する必要があります。

### 【水稻作付面積】◆推計124万6千ha(主食用米等)

需要に見合った生産の取り組み状況や各県等への聞き取りを踏まえ、主食用米等の水稻作付面積を124万6千ha、前年産実績比5千ha減と推計しました。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など非主食用の戦略作物は収穫予想から除外しています。また、自然かい廃等があることから変動の余地があります。

### 【水稻収穫量】◆主食用米等約674万トン

作付・作況予測に基づく、7月31日現在における本年産水稻主食用米等の収穫予測は、全国平均で10a当たり収量541kg、収穫量約674万トン、前年産実績比約4万トン増と見通しました。

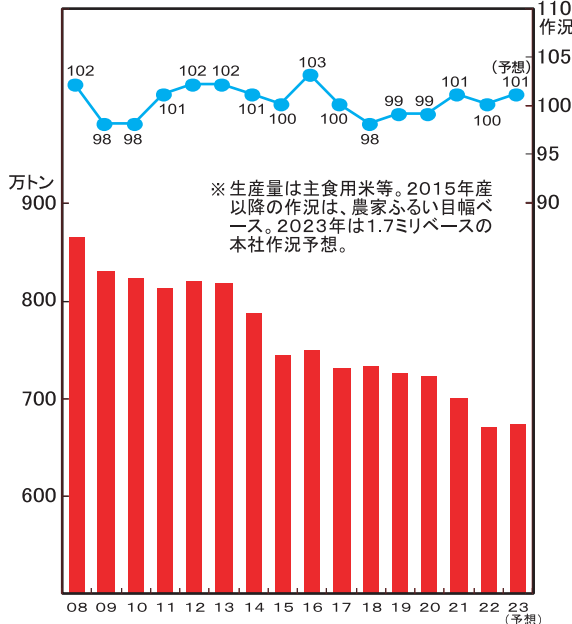
令和5/6年(令和5年7月から同6年6月)における主食用米等の供給量は、令和5年6月末の在庫約197万トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて約871万トンと見込まれます。基本指針で7月に策定された需要見通し約681万トンを差し引くと、令和6年6月末の在庫は約190万トン。在庫はさらに縮減し、需給均衡水準が見込まれます。一方、米価の値戻しがさらに進む可能性が高く、業務用向け等での使用減(盛り付け減や、他食材への切り替え)なども懸念され、消化進捗の確認が必要になりそうです。

[表1] 全国の水陸稲収穫予測(主食用米等)

			2023年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,246,000	▲ 5,000	99.6%
	収穫予想	t	6,740,000	38,000	100.6%
水稻	作付面積	ha	1,246,000	▲ 5,000	99.6%
	10a収量	kg	541	5	100.9%
	収穫予想	t	6,739,000	38,000	100.6%
	作況指数		101	-	-
陸稲	作付面積	ha	390	▲ 78	83.3%
	10a収量	kg	229	13	106.0%
	収穫予想	t	890	▲ 120	88.1%

[注]加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふりい目幅の基準が異なるため、表記せず。

■ コメ生産量と水稻作況指数

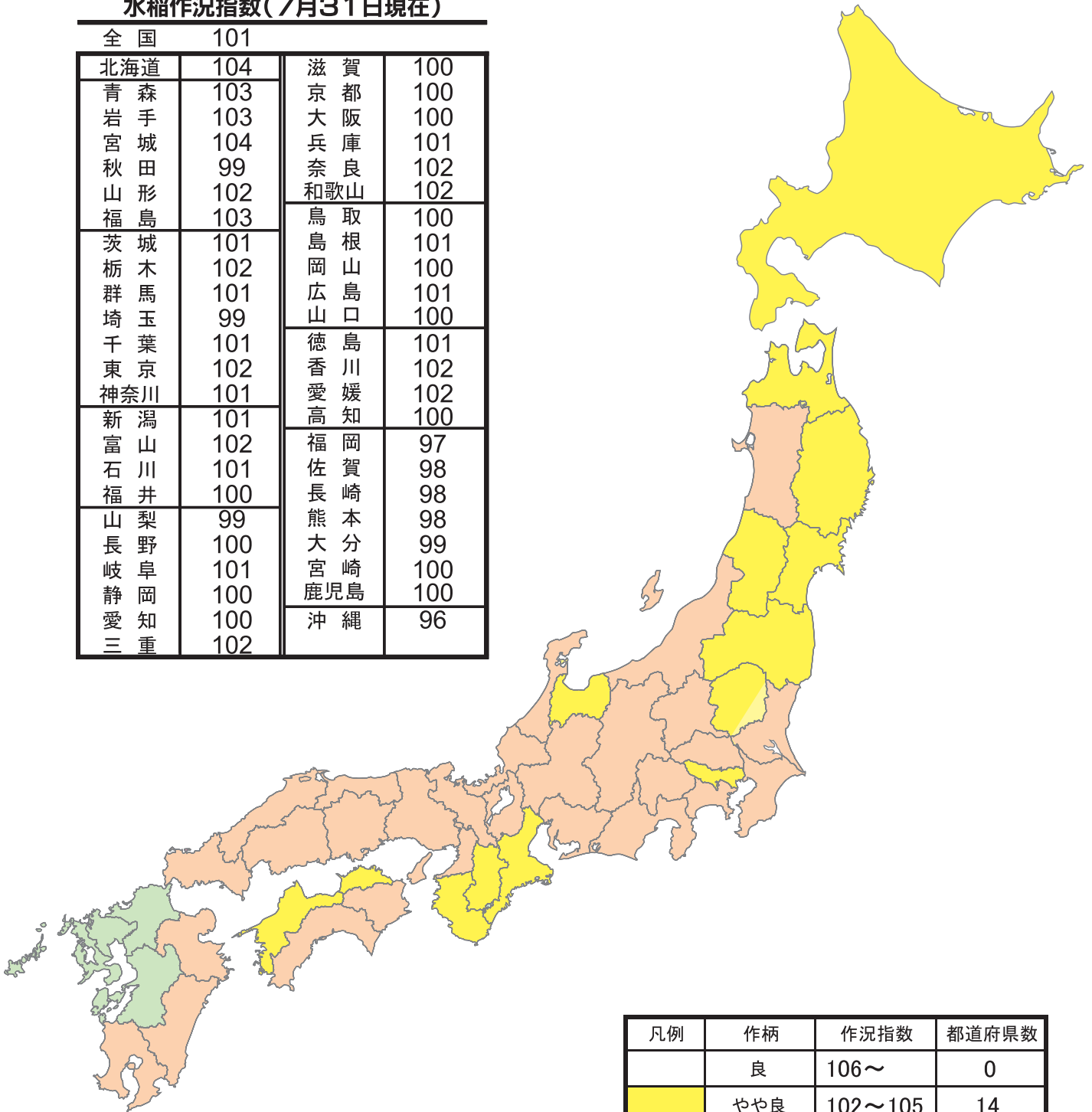


# 2023年産水稲の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稲作況指数(7月31日現在)

全国	101		
北海道	104	滋賀	100
青森	103	京都	100
岩手	103	大阪	100
宮城	104	兵庫	101
秋田	99	奈良	102
山形	102	和歌山	102
福島	103	鳥取	100
茨城	101	島根	101
栃木	102	岡山	100
群馬	101	広島	101
埼玉	99	山口	100
千葉	101	徳島	101
東京	102	香川	102
神奈川	101	愛媛	102
新潟	101	高知	100
富山	102	福岡	97
石川	101	佐賀	98
福井	100	長崎	98
山梨	99	熊本	98
長野	100	大分	99
岐阜	101	宮崎	100
静岡	100	鹿児島	100
愛知	100	沖縄	96
三重	102		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
■	やや良	102～105	14
■	平年並み	99～101	28
■	やや不良	95～98	5
■	不良	～94	0

[表2]2023年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,246,000	541	101	6,739,000	38,000
北海道	82,500	583	104	481,300	▲ 6,300
青森	33,900	621	103	210,500	9,100
岩手	43,200	556	103	240,300	5,600
宮城	57,000	563	104	320,700	14,600
秋田	69,500	571	99	397,000	14,200
山形	52,700	610	102	321,400	8,400
福島	52,700	568	103	299,100	14,200
茨城	58,500	532	101	311,400	1,200
栃木	46,700	551	102	257,200	11,900
群馬	12,400	503	101	62,400	200
埼玉	27,400	489	99	134,000	▲ 2,500
千葉	45,500	549	101	250,000	2,500
東京	110	422	102	460	▲ 24
神奈川	2,850	499	101	14,200	▲ 200
新潟	100,400	551	101	553,700	10,200
富山	31,200	558	102	174,100	100
石川	20,700	528	101	109,300	▲ 800
福井	21,400	519	100	111,100	▲ 100
山梨	4,670	542	99	25,300	300
長野	29,300	619	100	181,400	200
岐阜	19,700	490	101	96,500	▲ 900
静岡	14,900	520	100	77,500	1,100
愛知	25,000	507	100	126,800	▲ 500
三重	25,000	510	102	127,500	▲ 1,300
滋賀	27,200	518	100	140,900	▲ 4,000
京都	12,800	510	100	65,300	▲ 3,600
大阪	4,460	495	100	22,100	▲ 700
兵庫	32,400	506	101	163,900	▲ 4,400
奈良	8,330	523	102	43,600	0
和歌山	6,000	507	102	30,400	▲ 600
鳥取	11,900	514	100	61,200	▲ 500
島根	15,900	516	101	82,100	▲ 1,500
岡山	26,800	526	100	141,000	▲ 1,000
広島	20,700	533	101	110,400	▲ 1,400
山口	16,000	504	100	80,600	▲ 6,700
徳島	9,500	479	101	45,500	▲ 800
香川	10,800	506	102	54,600	▲ 600
愛媛	12,900	508	102	65,500	▲ 2,600
高知	10,500	456	100	47,900	▲ 900
福岡	31,800	481	97	153,000	▲ 8,000
佐賀	22,300	509	98	113,400	▲ 1,200
長崎	9,800	475	98	46,600	▲ 2,300
熊本	30,000	503	98	150,800	▲ 500
大分	18,100	494	99	89,400	▲ 3,300
宮崎	13,400	496	100	66,500	1,100
鹿児島	16,400	485	100	79,500	200
沖縄	580	297	96	1,720	▲ 100

[注]面積は米穀データバンク推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7ミリ基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用のふるい目幅ベースと異なる。ラウンドのため、計が合わない場合がある。

(参考)

### 米穀データバンクの作況予測[1.7mm基準]の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
<b>H5</b>	93	(8/15)95	74
<b>6</b>	108	(8/15)105	109
<b>7</b>	100	(8/15)100	102
<b>8</b>	100	(8/15)101	105
<b>9</b>	103	(8/15)102	102
<b>10</b>	97	(8/15)99	98
<b>11</b>	103	(8/15)103	101
<b>12</b>	103	(9/1)103	104
<b>13</b>	102	(9/15)103	103
<b>14</b>	102	(9/15)101	101
<b>15</b>	94	(9/15)92	90
<b>16</b>	103	(9/10)101	98
<b>17</b>	100	(9/15)102	101
<b>18</b>	96	(9/15)97	96
<b>19</b>	99	(9/15)99	99
<b>20</b>	102	(9/15)102	102
<b>21</b>	96	(9/15)98	98
<b>22</b>	102	(9/15)99	98
<b>23</b>	101	(9/15)101	101
<b>24</b>	102	(9/15)102	102
<b>25</b>	100	(9/15)102	102
<b>26</b>	102	(9/15)101	101
<b>27</b>	100	(9/15)100	100[100]
<b>28</b>	100	(9/15)103	103[102]
<b>29</b>	102	(9/15)100	100[100]
<b>30</b>	102	(9/15)100	98[99]
<b>R元</b>	100	(9/15)101	99[99]
<b>2</b>	98	(9/15)101	99[99]
<b>3</b>	102	(9/25)100	101[101]
<b>4</b>	101	(9/25)100	100[100]

[注]米穀データバンク予測の平成5年産は早場13道県で8月10日現在。同6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況の8/15は文字情報に変更し9/15現在、令和3年産から9/25現在からの公表になっています。平成12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、同16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更しています。[ ]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本予想は1.7ミリ基準を採用しています。